

令和7年度の事業報告書

特定非営利活動法人ウィーズ

1 事業の成果

第10期となる今期は、これまで継続してきた相談支援および親子交流支援を基盤としながら、新たな支援モデルの実装と支援領域の拡張に取り組んだ一年となった。

新規事業として準備を進めてきた「エブリリーフ」（地域の大人とこどもが継続的に関係を築く取り組み）については、本格的な始動に向けた活動を進めた。

また、事業立ち上げのためのクラウドファンディングを実施し、目標金額500万円を達成するなど、多くの市民からの共感と支援を得ることができた。

相談支援においては、家庭環境に悩むこどもからのLINE相談の累計利用者が1万人を突破した。相談内容は「家庭内の不和」「居場所がない」「将来への不安」など家庭環境に起因するものが多く、相談者一人ひとりの状況に応じた丁寧な対応を行った。

また、離婚や別居に伴う家族関係の課題に対応するため、親子交流支援に加えて家族関係そのものを調整する支援の必要性を踏まえ、家族セラピー導入に向けた検討および準備を進めた。

教育分野においては、県立高校において約800名の生徒を対象とした法教育プログラムを実施し、こどもたちが自らの権利や社会の仕組みについて学ぶ機会を提供した。

さらに、こどもの居場所として運営している「みちくさハウス」では、これまでの利用に加え、乳幼児の宿泊を含めた受け入れを行うなど、家庭環境に悩むこどもや家庭に対してより柔軟な支援ができる体制を整えた。

今期は、既存事業を着実に実施するとともに、新しい支援モデルの立ち上げや支援領域の拡張を進めることで、家庭環境に悩むこどもたちに対する支援の可能性を広げる一年となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
親子交流（面会交流）支援事業	離婚後の親子の親子交流において付添又は受渡の形態により仲介支援を実施	通年	各地	30名	離婚家庭の親子延べ約1,578名
支援者養成事業	LINE相談、親子交流支援、居場所事業等に関わる支援者の養成講座および研修	通年	オンライン及び事務所	3名	受講希望者10名
家庭環境に悩むこどものLINE相談事業	家庭環境に悩むこどもからのLINE相談を受付	通年	当法人事務所	20名	インターネット環境を持つ家庭環境に悩むこども約1,800名
エブリリーフ事業	地域の大人とこどもが継続的に関係を築く取り組みの実施（大人とこどものマッチング、活動支援）	通年	みちくさハウス及び地域	20名	こども及び親50名
こどもの居場所「みちくさハウス」事業	家庭が安住の地でないこどもたちの受け入れおよび家庭支援、宿泊受け入れ等の実施	通年	みちくさハウス	15名	こども及び家庭30名
法教育・学びの機会提供事業	学校等における法教育プログラムや体験学習の実施	通年	学校	90名	生徒約800名
ファンドレイジング・広報事業	寄付募集、クラウドファンディング、広報活動の実施	通年	事務所及びオンライン	10名	寄付者約250名
講演講師派遣	静岡県ひとり親サポートセンター研修講師	3月13日	静岡県静岡市	1名	支援員15名

	松戸 100 人会議講演	3 月 28 日	千 葉 県 松 戸 市	1 名	支援者 20 名
	フランス研修講師	6 月 18 日	千 葉 県 松 戸 市	1 名	一般 550 名
	N P O 協議会研修登壇	6 月 22 日	千 葉 県 松 戸 市	1 名	支援者 15 名
	学校法人幸和学園	9 月 18 日	広 島 県 広 島 市	1 名	教員 15 名
	コモンズ社会起業家フ ォーラム	9 月 4 日	東 京 都 内	1 名	200 名
	太田 N P O 活動団体交 流会	10 月 26 日	東 京 都 大 田 区	1 名	20 名
	白梅学園 学生を対象とした講義	11 月 21 日	東 京 都 小 平 市	1 名	学生 40 名
	千葉県立松戸南高校研 修講師	12 月 2 日	千 葉 県 松 戸 市	1 名	教員 100 名

(2) その他の事業（定款に「その他の事業」として定めている場合のみ）

※今期の実施はありませんでした。